



# 学校だより 5月

“桜川 学びのエリア : 桜川中・桜川小”

令和7年4月30日  
板橋区立桜川小学校  
No.2



## 思いや気付きは様々



校長 八代 麻子

\* 「ホーッ ハ ホーッ」 ある日の出勤途中、私にとっては初めての鳴き声が聞こえてきました。声のする方を見ると、柵の上に一羽のカラス！ビックリしながら見ていると、口をしっかりと開けて黒い舌も見せながら鳴いています。カラスの鳴き声と言えば「カー カー」を想像してしまいましたが、この時は違いました。（私には、確かにこう聞こえたのです。）周囲の仲間になんか伝えようという意思をもって鳴く姿に、凛々しさ・頼もしさも感じました。

新緑のまぶしさ・吹く風の心地よさなど、様々な感覚を使って、桜川の地域環境の素晴らしさを実感する「心のゆとり」も大事にしていきたいと思います。

\* 小学校に入学して1か月、1年生は学校生活に少しは慣れたでしょうか。不安な気持ちから涙を見せ、保護者の方と離れがたい様子の子もいましたが、最近は、ほぼ見なくなったなあと振り返っています。目をキラキラと輝かせ、挨拶が上手にできる子も少しずつ増えてきました。前向きに頑張ろうという気持ちの表れですね。

\* 進級した2～6年生も、様々な場面で自分の良さを発揮しています。

「立場（役割）で人は変わる」・「行事を通して成長する」と言われます。

下級生のことを気にかけて、班のみんなの安全を守りながら歩いてくる各登校班。桜川小のために、よりよい活動を考え実践している各委員会。他学年の歌声の素晴らしさを知り、さらに高め合おうと拍手を送り合った音楽朝会。先日行われた「1年生を迎える会」も、心温まる時間でした。



創立70周年を迎える記念の年、さくらっ子一人ひとりのもつ力や頑張りを再認識し、桜川小にいることの幸せを改めて感じていけるよう、心のアンテナを高くしていきます。

\* 「もう5月なの？」・「まだ5月か…」皆さんは、どちらの心境でしょうか。新しい環境（職場、学校・学年・学級）に、まだ慣れないと感じている子どもも大人もいるでしょう。苦しい気持ちを押し込むことなく「Help me!」と言ってみようと思える雰囲気づくりが大切です。一人ひとりの気持ちに寄り添い、時に背中を押し、時に対応策と一緒に考えるなどして、不安感の軽減につなげられるよう、努力を続けます。

□ 4月23日～5月12日は「こどもの読書週間」です。桜川小は、子どもたちが読書をしていると思う保護者の割合が低めです。ぜひこの機会に「親子で読書」はいかがでしょうか。本の世界に触れることで、新たな気付きがあるかもしれません。



私も久しぶりに『脳の強化書』（株式会社あさ出版・加藤俊徳著）を読み返し、発想の転換のヒントを得ようと思います。